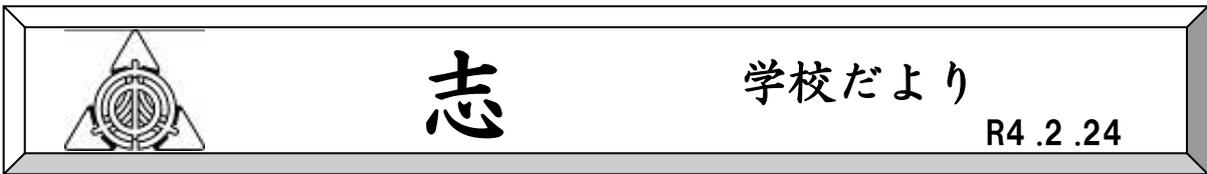


## 教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」



四日市市立内部中学校 第 39 号

### コミュニティスクール運営協議会

2月17日(木)に、今年度の最終となるみだしの協議会を開催しました。今回は、2学期末に実施した「教育活動に関するアンケート」等の結果を元に行った「学校自己評価」について、ご意見をいただきました。

アンケート結果は、昨年度と比べて数字としては良くなった項目がほとんどでしたが、少数であっても「不十分である」との回答や、記述によるご意見に着目して、改善を

図るべき内容を整理して委員のみなさんにご説明しました。また、教職員が「十分である」と感じていても、保護者や生徒の評価との間にズレがあるものについては、丁寧に見つめ直し、具体的な改善策を講じる必要があります。特に、「教育活動全般」「ていねいな授業」「いじめのない学校」「一人ひとりが楽しく過ごせる学校」の項目で、「不十分」の評価が数パーセントあることについて、「真摯に受けとめる必要がある」とご指摘いただき、認識を新たにしました。

特に、教職員が生徒たちと毎日向かい合う「授業」や「部活動」に関しては、生徒一人ひとりの思いや状況を慮り、やりがいを持てるもの、安心して過ごせるものにしていく必要があります。

委員からいただいた「学校の主役は生徒たちである」とのご意見は、至極当然のことです。そのことをすべての教職員がしっかりと認識して、教育活動に取り組んでいく必要があります。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、通常通りの教育活動が実施できませんでした。2学期と3学期の初めは特に大変でした。しかし、「できることは工夫して実施していこう」の考えを基本に取り組んだことを報告しました。委員からは「工夫したことは評価できるが、体験が十分でなかったことを補填する手立てを講じる必要がある」や「この際、これまで取り組んできた内容を見直し、必要なものとそうでないものを見極めるべき」との意見もいただきました。

更に、「『学校づくりビジョン』にもある『夢と志』を大切にしながら、教育目標である『知性豊かに 心さわやか たくましく生きる』を具現化して欲しい、とのご意見もいただきました。その中で、大リーガーの大谷翔平選手が、高校生の時に自分の志を達成するために作成した「マンダラチャート」についても紹介していただきました。生徒たちが自分の「志」や「キャリア」についての学習を進めるとともに、各教科で得た知識や技術を活用して、将来や社会において、確かに生きていく力を身に付けることができるよう、教育活動に取り組んでいきます。

※「学校自己評価の集計結果と考察」は、本校のHPに掲載してあります。ご覧ください。



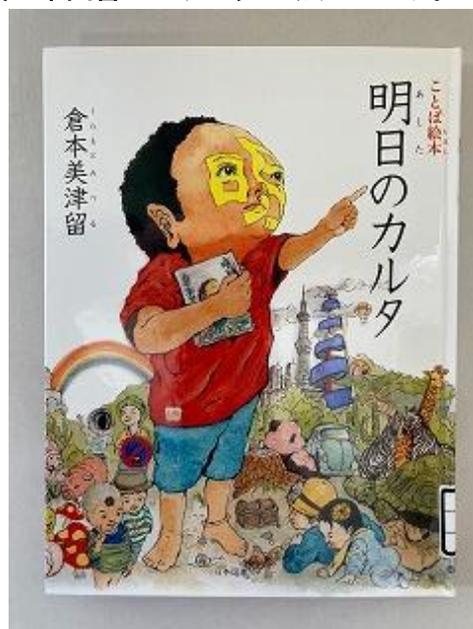
## ◇委員のみなさんのその他のご意見を紹介します。

- ・授業では、生徒たちの主体性に任せて進めていく様子を見ることができ、感心した。
- ・子どもたちは未来の宝物なので、先生方は教師の仕事に誇りを持って取り組んで欲しい。
- ・学校では、学力や体力も伸ばして欲しいが、一番大切な「心」を育てていただきたい。
- ・「ありがとう」と「ごめんなさい」を素直に、そしてちゃんと言える人に育てて欲しい。
- ・感謝する気持ちや、奉仕の精神についても身に付けてほしい。特に「感謝」が大切。
- ・先生方も、「ワークライフバランス」を意識し、効率良く働いて、休んでいただきたい。
- ・子どもたちの育成や指導は、「家庭」「学校」「地域」の全てですべきこと。
- ・ICTに頼り過ぎると、他者とのコミュニケーション力が衰えてしまうように感じる。

## 本の紹介

今回は、ことば絵本『明日のカルタ』倉本美津留 著〔日本図書センター〕を紹介します。

倉本美津留さんが、今まで生きてきた中で大事にしてきたこと、人生のヒントになるようなこと、自分に対しての戒めなどを、「明日を生きるすべての人に贈るメッセージ」として、倉本さんならではの言葉のチョイスにより、カルタ形式で50音順にまとめた1冊です。読んでみると、「そう言われるとそうだな!」と思うこともあれば、「はたして本当にそうかな?」と思う場合もあります。どう受け止めるかは、読んだ人が自由に感じれば良いと思いますが、自分の固まった考え方を客観的に振り返ることができたり、気持ちが楽になったりします。カルタの言葉だけでなく、簡単な解説が添えられていますので、それを読むとより「なるほど」と思われます。



この本は、本校の図書室にもありますので、興味がある人は是非読んでみてください。



※倉本美津留さんは、「ダウンタウンのごっつええ感じ」「たけしの万物創世紀」「M-1 グランプリ」「伊東家の食卓」をはじめ数々のヒット番組を担当し、現在はNHK Eテレのこども番組「シャキーン!」から、「ダウンタウン DX」のトスポの声まで幅広く活躍中の放送作家です。